

Ⅱ.うるま市流域関連公共下水道（具志川処理区）事業計画書

公共下水道管理者	うるま市長
工事着手の年月日	昭和 60 年 1 月 23 日
	平成 37 年 3 月 31 日
工事完了の予定年月日	令和 7 年 3 月 31 日

うるま市流域関連公共下水道（具志川処理区）事業計画書

目 次

第 1 表	予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書	7
第 1 表	予定排水区域及び放流箇所調書	10
第 2 表	吐口調書	12
第 3 表	管渠調書	14
第 4 表	ポンプ施設調書	19
様式 1	施設の設置に関する方針	20
様式 2	施設の機能の維持に関する方針	21
様式 3	財政計画書	22

第1表の1

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書						
予定処理区域の面積		2,298.0ha		予定処理区域内の地名	沖縄県うるま市 区域は下水道計画一般図表示のとおり	
処理区 の名称	処理分区の名称	面積 (ha)	流域下水道 との接続箇所 の番号	流域下水道 との接続箇所 の位置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘 要
具 志 川 処 理 区	新港地区 第2-1処理分区	15.7	18-1	中城湾 新港地区内	新港幹線	Q= 2 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	新港地区 第2-2処理分区	37.7	18-2	中城湾 新港地区内	新港幹線	Q= 324 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	新港地区 第3処理分区	91.5	17	字州崎	新港幹線	Q= 69 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	前原処理分区	357.1	2	字前原	具志川幹線	Q= 6,897 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	大田処理分区	37.4	3-1	字大田	具志川幹線	Q= 314 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	具志川処理分区	166.6	4	字田場	具志川幹線	Q= 2,217 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	田場処理分区	379.8	5	字田場	具志川幹線	Q= 4,452 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	安慶名処理分区	186.9	6	字安慶名	具志川幹線	Q= 2,861 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	西原第1処理分区	34.5	7-1	字安慶名	具志川幹線	Q= 899 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L

第1表の2

処理区 の名称	処理分区の名称	面積 (ha)	流域下水道 との接続箇所 の番号	流域下水道 との接続箇所 の位置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘 要
具 志 川 処 理 区	西原第2処理分区	85.0	7-2	字西原	具志川幹線	Q= 1,120 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	西原第3処理分区	43.5	7-3	字川崎	具志川幹線	Q= 646 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	西原第4処理分区	19.1	7-4	字川崎	具志川幹線	Q= 273 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	新前原処理分区	27.9	1-1	字前原	具志川幹線	Q= 252 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	豊原処理分区	28.5	2-1	字豊原	具志川幹線	Q= 658 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	塩屋処理分区	37.9	2-2	字塩屋	具志川幹線	Q= 561 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	川田処理分区	31.0	3	字川田	具志川幹線	Q= 211 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	栄野比第1処理分区	38.5	8-1	字栄野比	具志川幹線	Q= 387 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	栄野比第2処理分区	19.2	8	字栄野比	具志川幹線	Q= 257 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	白川処理分区	482.1	11	勝連内間	与勝幹線	Q= 4,954 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L

第1表の3

処理区 の名称	処理分区の名称	面積 (ha)	流域下水道 との接続箇 所の番号	流域下水道 との接続箇所 の位置	接続する 流域下水道 の幹線名	摘 要
具 志 川 処 理 区	与勝処理分区	14.9	10-1	勝連南風原	与勝幹線	Q= 12 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	南風原処理分区	35.6	10	勝連南風原	与勝幹線	Q= 433 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	新港地区 第1処理分区	113.9	19	中城湾 新港地区内	新港幹線	Q= 1,667 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	新南風原処理分区	3.6	10-2	勝連南風原	与勝幹線	Q= 20 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	勝連団地処理分区	1.5	10-3	勝連南風原	与勝幹線	Q= 73 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L
	勝連城跡処理分区	8.6	10-1-1	勝連南風原	与勝幹線	Q= 39 m ³ /日 BOD= 230 mg/L SS= 190 mg/L

第1表の4

予定排水区域及び放流箇所調書					
予定排水区域の面積		1,736.3ha	予定排水区域内の地名	沖縄県うるま市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」	
排水区の名称	面積 (ha)	放流箇所の番号	放流箇所の位置	放流先の名称	摘要
安慶名排水区	401.8	吐1-1	字安慶名	天願川	
		吐2-1	字天願	天願川	
		吐3-1	字赤野	天願川	
		吐17	字栄野比	天願川	
		吐18	字栄野比	川崎川	
		吐19	字川崎	天願川	
兼筒段排水区	273.2	吐4-1	字赤道	川崎川	
		吐14	字兼筒段	川崎川	
		吐20	字兼筒段	農業排水路	
		吐21	字兼筒段	米原川	
		吐22	字兼筒段	川崎川	
赤道排水区	127.7	吐5	字江州	沖縄市美里第5 雨水幹線へ流入	
		吐15	字江州	沖縄市美里第4 雨水幹線へ流入	
		吐16	字赤道	沖縄市知花第1 雨水幹線へ流入	
田場排水区	201.4	吐6	字田場	ヌーリ川	
		吐7	字田場	ヌーリ川	
		吐8	字大田	ヌーリ川	
		吐23	字田場	ヌーリ川	
具志川排水区	123.0	吐9	字田場	農業排水路	
		吐10	字具志川	金武湾	
		吐11	字具志川	金武湾	

第1表の5

排水区の名称	面積 (ha)	放流箇所の番号	放流箇所の位置	放流先の名称	摘 要
下原 排水区	194.8	吐12	字前原	中城湾	
		吐13	字前原	中城湾	
		吐24	字川田	農業排水路	
新港地区 排水区	161.4	—	字州崎	中城湾	
与那城 排水区	66.2	吐1-2	与那城屋慶名	埋立地 排水路	
屋慶名 排水区	65.9	吐2-2	与那城屋慶名	金武湾	
饒辺排水区	10.9	吐3-2	与那城屋慶名	金武湾	
南風原 排水区	22.0	吐1-3	勝連南風原	農業排水路	
平安名 排水区	88.0	吐2-3	勝連内間	農業排水路	
		吐3-3	勝連内間	農業排水路	
		吐4-2	勝連内間	屋慶名第2雨水幹線	

第2表の1

吐 口 調 書 (雨 水)							
排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口の番号又は名称		主要な吐口 の位置	計画放流量 (m ³ /s)	放流先の名称	摘要
安慶名 排水区	分流式 雨水管渠	安慶名第1雨水幹線	吐1-1	字安慶名	41.754 41.547	天願川	
		安慶名第10雨水幹線	吐2-1	字天願	7.356	天願川	
		安慶名第11雨水幹線	吐3-1	字赤野	3.031	天願川	
		安慶名第6雨水幹線	吐17	字栄野比	3.007	天願川	
		安慶名第7雨水幹線	吐18	字栄野比	4.137	川崎川	
		安慶名第8雨水幹線	吐19	字川崎	5.988	天願川	
兼箇段 排水区	"	兼箇段第2雨水幹線	吐4-1	字赤道	12.773	川崎川	
		兼箇段第3雨水幹線	吐14	字兼箇段	12.685	川崎川	
		兼箇段第1雨水幹線	吐20	字兼箇段	14.194	農業排水路	
		兼箇段第4雨水幹線	吐21	字兼箇段	3.731	米原川	
		兼箇段第5雨水幹線	吐22	字兼箇段	7.947	川崎川	
赤道 排水区	"	赤道第3雨水幹線	吐5	字江州	9.073	沖縄市美里第5 雨水幹線へ流入	
		赤道第1雨水幹線	吐15	字江州	20.883	沖縄市美里第4 雨水幹線へ流入	
		赤道第4雨水幹線	吐16	字赤道	4.808	沖縄市知花第1 雨水幹線へ流入	
田場 排水区	"	田場第1雨水幹線	吐6	字田場	21.270 18.858	ヌーリ川	
		田場第4雨水幹線	吐7	字田場	8.606 7.830	ヌーリ川	
		田場第5雨水幹線	吐8	字大田	4.406 4.050	ヌーリ川	
		田場第3雨水幹線	吐23	字田場	6.886 6.198	ヌーリ川	

第2表の2

排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口の番号又は名称		主要な吐口 の位置	計画放流量 (m ³ /s)	放流先の名称	摘要
具志川 排水区	分流式 雨水管渠	具志川第1雨水幹線	吐9	字田場	20.364 18.661	農業排水路	
		具志川第4雨水幹線	吐10	字具志川	5.981 5.456	金武湾	
		具志川第5雨水幹線	吐11	字具志川	6.215 5.682	金武湾	
下原 排水区	"	下原第2雨水幹線	吐12	字前原	6.840 6.208	中城湾	
		下原第3雨水幹線	吐13	字前原	7.487 6.691	中城湾	
		下原第1雨水幹線	吐24	字川田	7.350 6.709	農業排水路	
与那城 排水区	"	与那城雨水幹線	吐1-2	与那城屋慶名	6.443 5.815	埋立地 排水路	
屋慶名 排水区	"	屋慶名第1 雨水幹線	吐2-2	与那城屋慶名	64.603 57.858	金武湾	
饒辺 排水区	"	饒辺第2 雨水幹線	吐3-2	与那城屋慶名	3.732 3.394	金武湾	
南風原 排水区	"	南風原雨水幹線	吐1-3	勝連南風原	2.627 2.396	農業排水路	
平安名 排水区	"	平安名第1雨水幹線	吐2-3	勝連内間	28.153 25.675	農業排水路	
		平安名第4雨水幹線	吐3-3	勝連内間	5.636 5.165	農業排水路	
		内間第1雨水幹線	吐4-2	勝連内間	19.490 17.533	屋慶名第2 雨水幹線	

第3表の1

管 渠 調 書 (汚 水)				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所 の数	摘 要
西原第2処理分区	○ 200 ~ ○ 400	1,570	—	方法:マンホール内から管内目視もしくは管口カメラを用いる方法 頻度:5年に1回以上
安慶名処理分区	○ 150 ~ ○ 400	3,580	2箇所	
田場処理分区	○ 200 ~ ○ 600	5,260	1箇所	
具志川処理分区	○ 100 ~ ○ 450	3,780	1箇所	
新港第2-2処理分区	○ 250	180	—	
新港第3処理分区	○ 300	490	—	
前原処理分区	○ 150 ~ ○ 600	8,640	3箇所	
豊原処理分区	○ 200	560	—	
塩屋処理分区	○ 200	220	—	
大田処理分区	○ 200	360	—	
栄野比第1処理分区	○ 100	300	—	
白川処理分区	○ 200 ~ ○ 600	16,510	1箇所	
南風原処理分区	○ 300	10	—	
新港地区第1 処理分区	○ 300 ~ ○ 400	420	—	
西原第1処理分区	○ 200	60	—	
合 計		41,970	8箇所	

第3表の2

管 渠 調 書 (雨 水)				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
安慶名排水区	□ 900× 800 ~ 6,000×2,700 □ 6,000×2,400	2,920 2,050	—	
	□ 1,000×1,400 800× 800 ~ 4,700×2,100 □ 2,000×2,630	1,560 1,980	—	
	1,900 1,000×1,500 1,100 ▽ 700× 860 ~ 2,900 2,000×1,500 5,400 ▽ 4,000×2,600	100 790	—	
	— 1,750 ▽ 1,300×1,300	— 110	—	
	小 計	4,580 4,930	—	
田場排水区	□ 1,000×1,200 1,100×1,100 ~ 4,000×2,000 □ 3,300×2,000	1,280 1,240	—	
	□ 1,200×1,200 ~ □ 3,200×1,500	460 580	—	
	1,860 ▽ 1,200×1,100 ~ 5,000 ▽ 4,100×1,600	640 560	—	
	小 計	2,380	—	

第3表の3

管 渠 調 書 (雨 水)				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所 の数	摘 要
具志川排水区	□ 1,300×1,200 ~ □ 2,000×2,300	1,900 2,110	—	
	□ 1,800×2,300	20	—	
	√ 1,300 900×1,000 ~ √ 1,500 1,100×1,000	910 840	—	
	小 計	2,830 2,970	—	
下原排水区	□ 1,100×1,200 ~ □ 1,300×1,400	750	—	
	√ 1,900 1,000×1,300 ~ √ 3,000 2,050×1,550	2,060	—	
	小 計	2,810	—	
赤道排水区	○ 1,200	20	—	
	□ 1,100×1,200 ~ □ 3,000×2,000	650	—	
	□ 1,400×1,300 ~ □ 2,500×2,000	660	—	
	√ 2,000 1,100×1,500 ~ √ 3,600 2,400×2,000	790	—	
	小 計	2,120	—	

第3表の4

管 渠 調 書 (雨 水)				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所 の数	摘 要
兼箇段排水区	○ 1,350~1,800	360	—	
	□ 1,000×1,000 ~ □ 2,300×1,700	950	—	
	□ 1,300×1,000 ~ □ 3,200×1,700	1,640	—	
	▽ 1,600 ▽ 1,000×1,400 ~ ▽ 3,100 ▽ 2,000×1,850	1,550	—	
	小 計	4,500	—	
与那城排水区	□ 2,000×1,200 ~ 2,000×2,000 □ 2,100×2,000	790	—	
	小 計	790	—	
屋慶名排水区	▽ 3,700 ▽ 2,500×2,000 ~ 10,000 ▽ 8,500×2,700	1,030	—	
	6,100 □ 6,500×2,200	200	—	
	小 計	1,230	—	
饒辺排水区	▽ 1,800 ▽ 1,000×1,500	110	—	
	小 計	110	—	

第3表の5

管 渠 調 書 (雨 水)				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
南風原排水区	□ 750×1,150 ~ □ 1,000×1,200	140	—	
	▽ 1,000 800× 800 ~ 3,000 ▽ 2,900× 570	120	—	
	小 計	260	—	
平安名排水区	□ 900× 850 ~ □ 3,700×1,100	2,980 2,260	—	
	□ 1,600×1,200 ~ □ 2,100×1,550	920 1,210	—	
	▽ 2,100 1,600×1,700 ~ 5,500 ▽ 4,500×2,170	490 920	—	
	小 計	4,390	—	
合 計		26,000 26,490	—	

第5表

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の 名称	処理分区の名称	ポンプ施設の 位置	敷地面積 (単位：ha)	1分間の揚水量 (単位：立法メートル)		摘要
				晴天時 最大	雨天時 最大	
赤野 ポンプ場	田場処理分区	字赤野	0.029	3.65	—	
前原第3 ポンプ場	〃	字赤道	0.070	3.79	—	
前原第4 ポンプ場	〃	〃	0.070	2.78	—	
屋慶名汚水 中継ポンプ場	白川処理分区	与那城屋慶名	0.117	2.82	—	
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設の 名称	主要な施設の 名称	数	構 造	能 力	摘 要	
赤野 ポンプ場	ポンプ設備	3台	スクリーン渦巻きポンプ	揚水量 2.00m ³ /min・台	3/3 内1台予備	
	ポンプ室		鉄筋コンクリート造			
前原第3 ポンプ場	ポンプ設備	3台	スクリーン渦巻きポンプ	揚水量 1.90m ³ /min・台	3/3 内1台予備	
	ポンプ室		鉄筋コンクリート造			
前原第4 ポンプ場	ポンプ設備	3台	スクリーン渦巻きポンプ	揚水量 1.40m ³ /min・台	3/3 内1台予備	
	ポンプ室		鉄筋コンクリート造			
屋慶名汚水 中継ポンプ場	ポンプ設備	3台	スクリーン渦巻きポンプ	揚水量 1.50m ³ /min・台	3/3 内1台予備	
	ポンプ室		鉄筋コンクリート造			

施設の設置及び機能の維持管理に関する中長期的な方針

様式1 施設の設置に関する方針

主要な施策	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考	
	指標等	現在 令和1 年度	中期目標 令和11 年度	長期目標				
汚水処理	下水道処理人口普及率	66.9%	80.8%	89.1%	平成27年度に見直しした汚水処理施設整備構想に基づき、人口密度が高い地域から優先的に整備を実施する。	天願地区汚水枝線管渠整備事業		
浸水対策	都市浸水対策達成率	整備目標 89mm/hr (重点地区)	63% (666ha)	86% (906ha)	100% (1,050ha)	浸水被害の多い地区から優先的に整備を進める。 また、既設排水路等のストックを活用した効率的な整備を図る。	安慶名地区雨水幹線管渠整備事業	
		整備目標 78mm/hr (一般地区)	55% (863ha)	83% (1,299ha)	100% (1,560ha)		その他地区雨水幹線管渠整備事業	

様式2 施設の機能の維持に関する方針

(1) 主要な施設に係る主な措置

1) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検調査の頻度
管渠施設	点検：腐食環境下における主要な管渠については5年に1回以上、一般環境下における主要な管渠については10年に1回以上とする。 調査：腐食環境下における主要な管渠については10年に1回以上、または点検の結果、異状が発見された場合にテレビカメラ調査等による調査を実施する。一般環境下における主要な管渠については20年に1回以上、または点検の結果、異状が発見された場合にテレビカメラ調査等による調査を実施する。
ポンプ施設	5年～10年に1回で分解調査を実施する。

2) 診断結果を踏まえた修繕改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度Ⅰで改築、緊急度Ⅱで修繕または改築を実施とする。
ポンプ施設	健全度2以下で改築、健全度3以下で修繕を検討する。

3) 改築事業の概要（令和1年度～令和6年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	対象施設なし
ポンプ施設 (ポンプ本体)	対象施設なし

(2) 長期的な改築事業の見通し

改築事業の見通し (年あたり概ねの 事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年あたり概ね508百万円	概ね100年後	管渠：健全率予測式(国土技術政策研究所)により緊急度を予測し、主要な管渠は緊急度Ⅱ、枝線管渠は緊急度Ⅰで改築 ポンプ場：標準耐用年数の1.5倍で改築

様式3 財政計画書

イ) 経費の部

(単位：百万円)

年次	建設改良費					起債元利 償還費	維持 管理費	その他	計	合計
	管渠	ポンプ場	建設 負担金	計	うち用地費					
R1迄	36,211.7	2,728.3	4,507.3	43,447.3	150.0	15,209.5	11,786.6		26,996.1	70,443.4
	34,729.6	2,645.3	4,635.4	42,010.3	155.0	15,606.6	12,354.6	—	27,961.2	69,971.5
R2	1,067.0	82.0	75.0	1,224.0	—	648.8 903.4	617.0 840.7	—	1,265.8 1,744.1	2,489.8 2,968.1
						633.0 951.7	659.0 897.9	—	1,292.0 1,849.6	2,820.0 3,377.6
R3	1,440.0	13.0	75.0	1,528.0	—	613.4 938.1	695.0 947.0	—	1,308.4 1,885.1	2,757.4 3,442.1
	1,374.0 1,482.0	0.0	75.0	1,557.0	—	584.1 905.3	721.0 982.4	—	1,305.1 1,887.7	1,992.1 2,682.7
R4	612.0 720.0	0.0	75.0	795.0	—	568.2 924.2	759.0 1,034.2	—	1,327.2 1,958.4	3,769.2 6,073.5
	2,194.0 3,784.1	173.0 256.0	75.0	2,442.0 4,115.1	—	3,047.5 4,622.7	3,451.0 4,702.2	—	6,498.5 9,324.9	13,828.5 18,544.0
R2～6計	6,687.0 8,493.1	268.0 351.0	375.0	7,330.0 9,219.1	—	18,256.9 20,229.3	15,237.6 17,056.8	—	33,494.5 37,286.1	84,271.8 88,515.5
	42,898.7 43,222.7	2,996.3 2,996.3	4,882.3 5,010.4	50,777.3 51,229.4	150.0 155.0			—		
合計										

ロ) 財源の部

(単位：百万円)

年次	建設改良費						維持管理費及び起債元利償還費				合計
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他	計	
R1迄	23,246.1	17,879.7	2,321.5		0.0	43,447.3	8,666.1	18,330.0		26,996.1	70,443.4
	22,335.8	17,257.1	2,361.3		56.1	42,010.3	8,834.1	19,127.1	0.0	27,961.2	69,971.5
R2	675.6	525.4	23.0		0.0	1,224.0	649.0	616.8		1,265.8	2,489.8
							650.1	1,094.0	0.0	1,744.1	2,968.1
R3	854.4	644.5	29.1		0.0	1,528.0	702.0	590.0		1,292.0	2,820.0
							703.2	1,146.4	0.0	1,849.6	3,377.6
R4	807.9	613.6	27.5			1,449.0	742.0	566.4		1,308.4	2,757.4
	871.4	656.0	29.6		0.0	1,557.0	743.3	1,141.8	0.0	1,885.1	3,442.1
R5	359.9	314.9	12.2			687.0	776.0	529.1		1,305.1	1,992.1
	423.4	357.2	14.4		0.0	795.0	777.3	1,110.4	0.0	1,887.7	2,682.7
R6	1,391.8	1,002.9	47.3			2,442.0	808.0	519.2		1,327.2	3,769.2
	2,375.6	1,658.7	80.8		0.0	4,115.1	809.4	1,149.0	0.0	1,958.4	6,073.5
R2～6計	4,089.6	3,101.3	139.1			7,330.0	3,677.0	2,821.5		6,498.5	13,828.5
	5,200.4	3,841.8	176.9		0.0	9,219.1	3,683.3	5,641.6	0.0	9,324.9	18,544.0
合計	27,335.7	20,981.0	2,460.6		0.0	50,777.3	12,343.1	21,151.4		33,494.5	84,271.8
	27,536.2	21,098.9	2,538.2		56.1	51,229.4	12,517.4	24,768.7	0.0	37,286.1	88,515.5

下水道使用料 ※関連事項	接続率： 76% (R1年度) → 90% (R6年度)
	講じる対策 各戸訪問の実施、供用開始区域へのチラシ配布、イベント時の広報、市HPや市広報誌での排水設備工事補助金制度の案内
	有収率： 89% (R1年度) → 89% (R6年度)
	講じる対策 現状の有収率は、事業計画上の計画有収率とほぼ同程度であり、事業計画上問題は無いため、特段の対策は講じないものとする。ただし、近年有収率が低下する傾向にあることから、SM計画に準じ点検・調査を行い、適宜対策を実施するものとする。 ※事業計画における日平均汚水量ベースでの有収率 地下水の割合＝地下水量3,323m ³ /日÷日平均汚水量29,598m ³ /日＝11.2% 事業計画上の有収率＝100.0%－11.2%＝88.8%
その他の講じる対策 特になし	